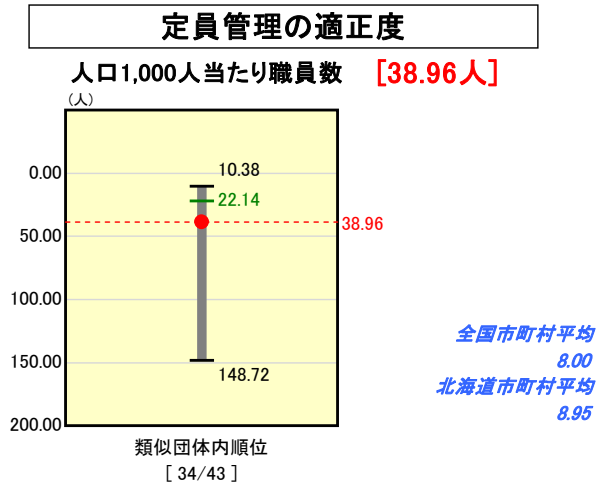
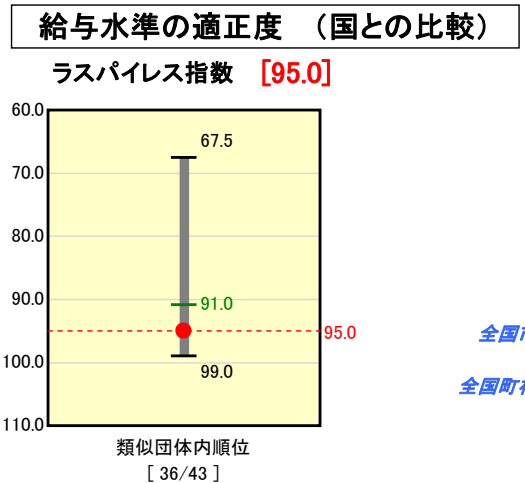
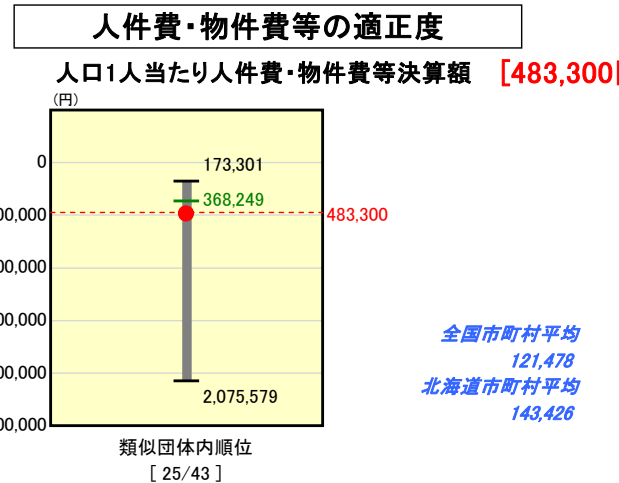
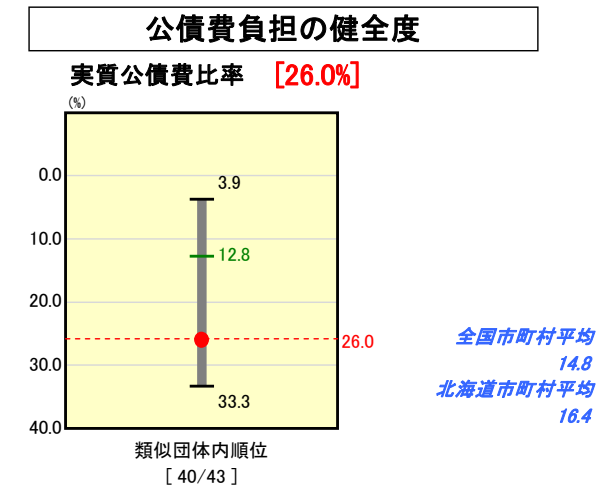
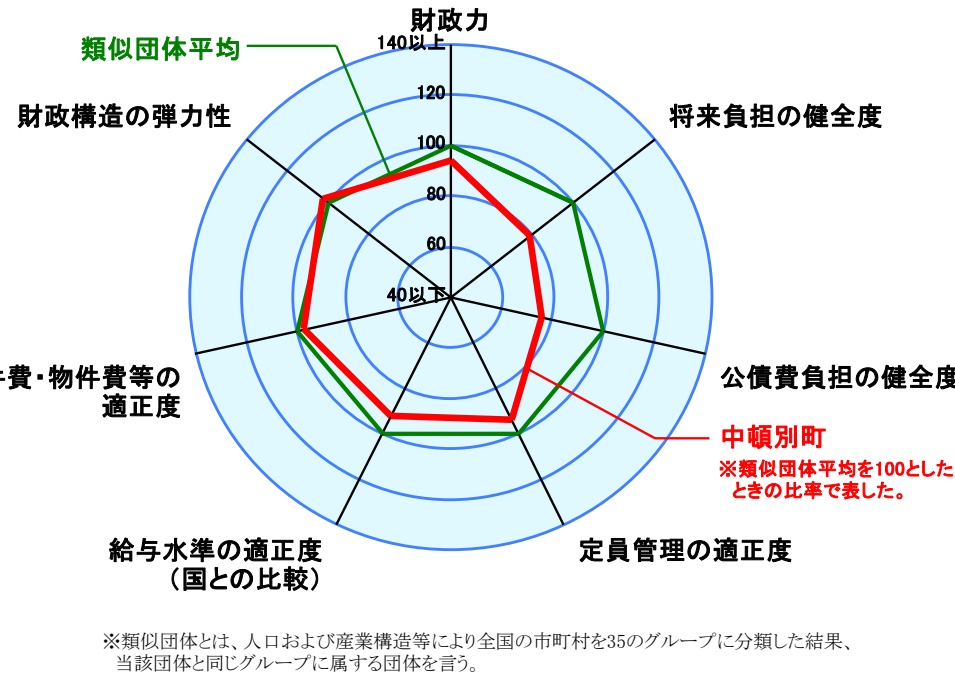
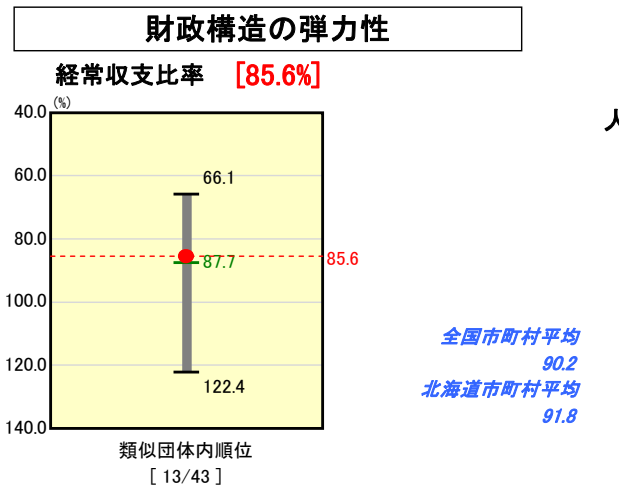
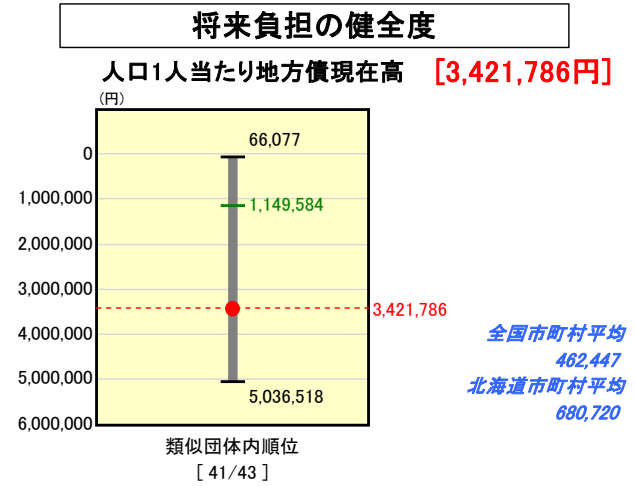
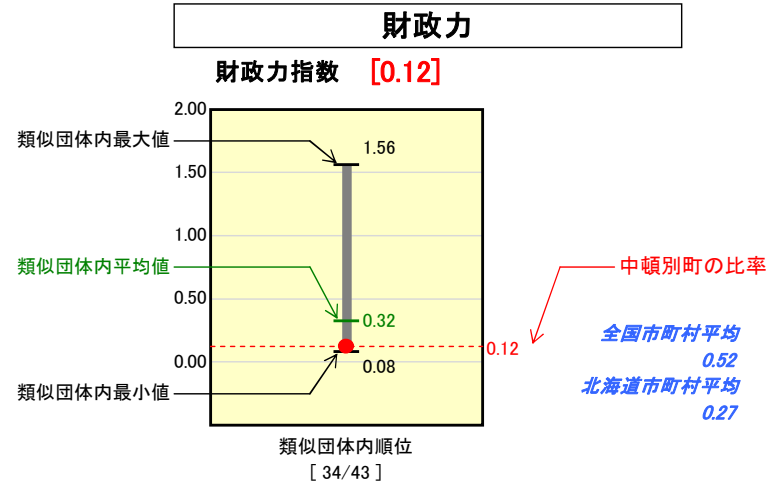


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 北海道 中頓別町

人口	2,310人	(H18.3.31現在)
面積	398.55	km <sup>2</sup>
歳入総額	4,148,533	千円
歳出総額	4,093,976	千円
実質収支	48,230	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数: 長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから0.12と類似団体平均を大きく下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減や投資的経費の抑制をする等、歳出の徹底的な見直しを図るとともに、税率の徴収率向上を中心とする歳入確保に努める。

○経常収支比率: 人件費の抑制等により85.6%と類似団体平均をわずかに下回っているものの、公債費の増加等、数値が上昇する要因もあるため、今後はさらに事務事業の見直しを行い経常経費の縮減に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 人件費、物件費とも年々削減しているが、さらなる人口の減少によりその数値は類似団体平均を上回っている状況にある。今後においては、さらなる人件費の抑制や事務事業の見直しによる物件費等の縮減に努める。

○ラスパイレース指数: これまで新規職員の採用を行わなかったことにより、職員の平均年齢が高くなっていることから類似団体と比較して高い水準となっている。平成17年度から勤労手当の凍結等の独自削減を行っており、今後についても退職者不補充による職員の削減を行う等、類似団体平均の水準になるように努める。

○人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均を大きく上回っている。主な要因としては、一般廃棄物埋立処分施設整備(総事業費7.7億円、うち起債6.1億円)や公営住宅建設事業(平成10年～15年で総事業費13.5億、うち起債7.1億)等であるが、今後、新規地方債の発行の抑制等により地方債現在高の縮減に努める。

○実質公債費比率: 福祉施設の整備、公営住宅建設、一般廃棄物埋立処分施設整備、下水道整備、水道統合事業、病院施設改修、消防支署の建設等に係る償還により類似団体と比較して大きく上回っている。今後、公債費は平成18年度をピークに減少に転ずるものと見込まれるが、公債費負担適正化計画に基づき、今後の事業計画を整理・縮小する等、より一層の健全化を図っていく。

○人口1,000人当たり職員数: 人口当たりの職員数は類似団体平均を上回っているが、平成15年度以降、定年退職者不補充により職員数の削減を図っている。また、平成19年度には公営事業(知的障害者更正施設)の法人化にともない大幅な職員の削減を図っている。